

平成 25 年（2013 年）2 月 6 日

白馬高校を育てる懇話会長  
太田 紘 熙 様

白馬高校魅力づくり検討委員長  
宮澤 敏 文  
〈公印省略〉

## 平成 24 年度「白馬高校魅力づくり検討委員会」中間報告

### 1 白馬高校の現状分析

白馬高校では平成 11 年度よりコース制を導入し、1 学年 3 学級規模の学校として地域の高校生の教育に努めてきた。全国的な若年者数減少の中、平成 15 年度からはコース制はそのままに、1 学年 2 学級規模の学校として今日に至っている。

しかしながら、地域に学ぶ中学生数の減少と大北地区から他地区への流出傾向が懸念されるなかで、白馬高校への入学者数は減少傾向が続いており、平成 24 年度の入学者数は 50 名を割り全体の充足率は 68%となった。（(1) (2)参照）

また、最近の多様な生徒への対応と更なる魅力づくりのため、平成 25 年度よりコース制から類型制に転換するが、平成 25 年度入学者選抜志願予定者数は伸び悩んでいる状況である。（(3)参照）

この結果、平成 25 年 3 月に現在の 3 年生が卒業すると、4 月には新入生として 60 名以上を確保しなければ全校生徒数が 160 名を割る可能性が大きいと言える。これは平成 19 年 6 月に長野県教育委員会が発表した「高校改革プランの進め方」の再編基準（(4)参照）に関わらざるをえない状況である。

これを危惧した白馬、小谷両村の関係者から、現状を打開したいとの機運が盛り上がり、「白馬高校を育てる懇話会」からの諮問を受け本検討委員会では 7 回の会議を開催し、白馬高校存続のためにどうすべきか具体的な方策を検討してきた結果、今回の中間報告の取りまとめに至った。

#### （1）平成 24 年度年度白馬高校の生徒数

（平成 24 年 5 月 1 日現在 1 学年 2 学級規模 80 名定員）

	小谷中学	白馬中学	大町市内	北安郡内	その他	合計	充足率
1 学年	7(14%)	26(53%)	10(21%)	3( 6%)	3( 6%)	49	61%
2 学年	6(11%)	32(60%)	12(23%)	2( 4%)	1( 2%)	53	66%
3 学年	10(16%)	35(57%)	12(20%)	3( 5%)	1( 2%)	61	76%
合計	23(14%)	94(58%)	34(21%)	8( 5%)	4( 2%)	163	68%

(2) 白馬中学・小谷中学の卒業生数と白馬高校入学者数の推移 (H23 年度調査データ)

年 度 中学校・地区		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
		入 学 今 春 卒 業	入 学 現 3 学 年	入 学 現 2 学 年	入 学 現 1 学 年				
12 区 (大北地区) 中学卒業予定者数		677	660	621	647	630	585	608	534
白馬高校在生生徒数 (全校生徒数)		196	191	170	163				
白馬高校入学者数 (1 学年生徒数)		63	67	56	49				
白馬中学	卒業 (予定) 者数	100	109	96	89	93	85	81	74
	白馬高校入学者数	27	38	31	26				
	同中学卒業生内比率	27%	35%	32%	29%				
	白馬高校入学者内比率	43%	57%	55%	53%				
小谷中学	卒業 (予定) 者数	30	27	20	33	21	33	32	24
	白馬高校入学者数	10	10	6	7				
	同中学卒業生内比率	33%	37%	30%	21%				
	白馬高校入学者内比率	16%	15%	11%	14%				
その他 (郡内・郡 外・県外)	入学者数	26	19	19	15				
	入学者内比率	41%	28%	34%	31%				

(3) 平成 25 年度入学者選抜志願予定者数

第 1 回調査 …… 平成 24 年 10 月 11 日調査実施 (発表 10 月 26 日)

第 2 回調査 …… 平成 24 年 12 月 17 日調査実施 (発表 1 月 8 日)

	募集人員	第 1 回 調 査	第 2 回 調 査
前期選抜	32 名	26 名	30 名
後期選抜	48 名	31 名	36 名

(4) 高校改革プランの今後の進め方 (高校再編の新たな方針・基準 抜粋)

【下限規模 2 学級を下回る場合】

以下の I または II の状態が 2 年連続した場合、

地域キャンパス化 (分校化)

他校との統合 (新たな高校をつくる)

募集停止

のいずれかとする。

I 全校生徒数が 120 人以下の場合

II 全校生徒数が 160 人以下で、かつ卒業生の半数以上が当該高校へ入学している中学校がない場合

【より小規模になった場合】

2 年連続して、全校生徒数が 60 人以下の場合は、募集停止を検討する。

ただし、卒業生の半数以上が当該高校へ入学している中学校があるときは慎重に扱う。

## 2 平成 24 年度「白馬高校魅力づくり検討委員会」検討経過

- (1) 第 1 回 平成 24 年 9 月 18 日 (火) 午後 1 時 30 分より (白馬高等学校 会議室)
  - ・白馬高等学校の現状について
  - ・「高校改革プランの今後の進め方」高校再編の新たな方針・基準について
- (2) 第 2 回 平成 24 年 10 月 15 日 (月) 午後 2 時より (白馬高等学校会議室)
  - ・白馬高等学校の来年度に向けた取り組みについて
- (3) 第 3 回 平成 24 年 11 月 8 日 (木) 午前 9 時 30 分より (白馬村役場 会議室)
  - ・白馬高校の新たな方向性について
- (4) 第 4 回 平成 24 年 11 月 19 日 (月) 午後 1 時 30 分より (白馬村役場 会議室)
  - ・委員各所属よりの意見集約
  - ・白馬高校の新たな方向性について (継続)
- (5) 第 5 回 平成 24 年 12 月 8 日 (土) 午前 9 時 30 分より (白馬村役場 会議室)
  - ・白馬高校の新たな方向性について (継続)
- (6) 第 6 回 平成 25 年 1 月 15 日 (火) 午前 9 時 30 分より (白馬村役場 会議室)
  - ・地域の経済及び観光の状況について (商工会・企業より)
  - ・白馬高校の新たな方向性について (継続)
- (7) 第 7 回 平成 25 年 1 月 30 日 (水) 午前 9 時 30 分より (白馬村役場 会議室)
  - ・中間報告のまとめ

## 3 小谷・白馬両村の外部意見

### 第 6 回白馬高校魅力づくり検討委員会に招聘した 4 名の方の意見概要

#### ○白馬商工会 事務局長 松本喜美人 氏

- ・地域には経営者が多く (民宿等)、将来的に経営者のルールが敷かれている。
- ・生徒の海外留学や国内企業への派遣が有意義である。
- ・高校生には商業的な部分 (経理や数字の見方) についての学習が必要である。

#### ○小谷村商工会 副会長 今井 頌治 氏

- ・白馬小谷地区は建設業従事者が多く、白馬高校出身者は 27%いる。
- ・一般常識を身につけ、専門性の高い授業を受けることが大切である。
- ・就業体験等では協力したい。

#### ○白馬五竜スキー場・白馬五竜高山植物園 代表取締役社長 駒谷嘉宏 氏

- ・現代社会は衰退期にあり、経営についてのコンセプト転換が必要である。
- ・企業 (受け入れ側) がエネルギーを使い、自らの意識改革をする必要がある。
- ・入口と出口を重要視し、まずマーケティング (意識調査) が必要である。

#### ○白馬観光開発株式会社 代表取締役社長 高梨 光 氏

- ・企業と地域社会とがバランスを取り経済効果を生み出すシステムが必要である。
- ・企業では新卒者を採用しにくい状況だが、組織としての新陳代謝が必要である。
- ・白馬高校のカリキュラムに観光に係る部分があればプロとして協力したい。

#### 4 検討委員会での意見概要

- (1) 白馬・小谷地域は観光を中心に発展してきた経過があり、この方向性はこれからも変わらない。この意味で、地域の次代を担う若者の教育に携わる白馬高校に観光学科を設置することは、白馬高校の魅力づくりにつながる。
- (2) 当地区の著しい生徒減に対しては、特色ある専門学科設置により全国を含め広域から生徒を募集することが必要である。
- (3) 普通科を志望する生徒は都市部に集中する傾向があることから、普通科以外の専門学科設置により生徒確保を図るべきである。

#### 5 結論

- (1) 観光学科転換により1学年2クラス規模の高等学校を維持する。1クラスを普通科、1クラスを観光学科とする。
- (2) 全国募集を含め広域からの志願者増大を図る。
- (3) 観光学科のカリキュラムや地域との連携のあり方等については、関係団体との協議を含め引き続き当委員会で検討し、「白馬高校を育てる懇話会」に答申する。
- (4) 当委員会で検討した結果については、「白馬高校を育てる懇話会」より長野県教育委員会に要望していただきたい。

平成24年度白馬高校魅力づくり検討委員会名簿

所 属 職 名	氏 名	
長野県議会議員	宮 沢 敏 文	委員長
白馬村長	太 田 紘 熙	
小谷村長	松 本 久 志	
白馬村議会総務社会委員長	太 田 伸 子	
小谷村議会総務委員長	猪 股 英 人	
白馬村教育委員長	太 田 昭 雄	
小谷村教育委員長	平 林 哲 夫	
白馬村教育長	福 島 総 一 郎	
小谷村教育長	細 井 仁	
白馬中学校長	尾 形 浩	
小谷中学校長	小 林 芳 裕	
白馬高校同窓会長	松 沢 宗 昭	
白馬高校PTA会長	土 岐 直 美	
白馬高校スキー部OB会長	和 田 光 三	
白馬高校長	米 窪 伸 一 郎	
白馬高校教頭	板 花 淳 志	
白馬高校事務長	浜 正 彦	
白馬高校将来検討委員長	尾 川 雅 彦	
白馬高校生徒指導主事・スキー部顧問	矢 口 壯 二	

